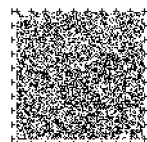


し 知ってほしい!!

あだちの ユニバーサル デザイン



あだちく としけんせつぶ としけんせつか
足立区都市建設部都市建設課
たんとうか
ユニバーサルデザイン担当課



ユニバーサルデザインってな～に？

ユニバーサルデザインとは、^{ねんれい}年齢、^{せいべつ}性別、^{こくせき}国籍などに関係なく、^{ひと}すべての人が使いやすく、^{つか}モノやかたちをつくることです。

ユニバーサルデザインには、アメリカのロナルド・メイスさんを中心とするグループがまとめた、「^{げんそく}ユニバーサルデザインの^{きほんてき}7原則^{かんが}」という基本的な考え方があります。

^{みわた}まちを見渡してみると、ユニバーサルデザインがたくさんあるね。



4 ^{ぶんべつしき}分別式ゴミ箱^{ばこ}

^{とうにゆうぐち}イラストや投入口^{けいじょう}の形状により、^す捨てる場所がすぐ^{ばしょ}にわかります。



^{ひつよう}必要な情報がすぐに理解できる^{りかい}認知性^{にんちせい}

5 ^{えき}駅のホームドア

^{でんしゃ}電車のドアと連動^{れんどう}して自動で開閉^{かいへい}することで、転落^{てんらく}事故を防ぎます。



^{きけん}危険や思わぬ結果につながらない^{おも}安全性^{けつか}あんぜんせい

6 ^{じどうはんばいき}自動販売機

^{さいじょうだん}最上段の商品に^{しょうひん}対応したボタンが^{たいおう}低い位置にある^{ひく}ことで、だれでも^{いち}購入できます。



^{むり}無理なく少ない力で、^{すく}楽に使える^{ちから}効率性^{らく}こうりつせい

7 ^{えき}駅の改札口

^{はば}幅の広い改札口^{かいさつぐち}はだれでも余裕^{よゆう}をもって、通行^{つうこう}できます。



^{じゅうぶん}十分な広さが確保されている^{かくほ}快適性^{かいてきせい}

1 ^{じどう}自動ドア

^て手などを^{つか}使わずに開閉でき、^{かいへい}だれもが簡単に利用^{りよう}できます。



^{りよう}だれもが利用できる^{こうへいせい}公平性

2 ^{みずの}水飲み場

^{こと}異なる高さにする^{たか}ことで、自分^{じぶん}に合った方を選ぶ^あことができます。



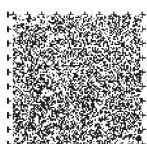
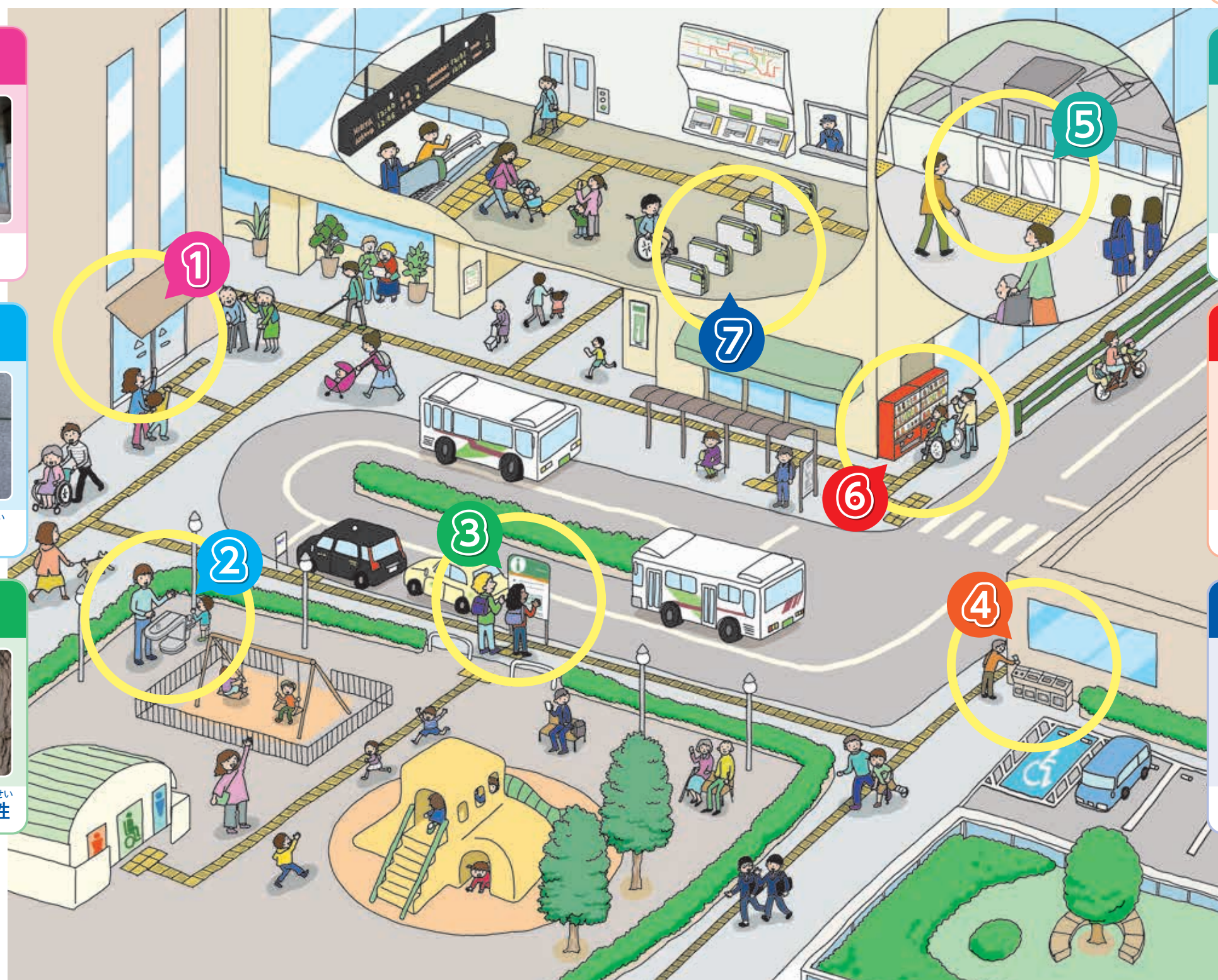
^{りようしや}利用者に^{おう}応じた使い方ができる^{つか}柔軟性^{かた}じゅうなんせい

3 ^{あんないばん}案内板

^え絵や多くの言語^{おほ}を使って表すこと^{げんご}でわかりやすくなり^{つか}ます。

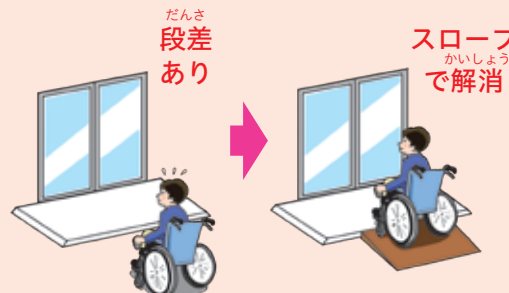


^{つか}使い方がすぐにわかる、^{かた}単純性と直感性^{たんじゆんせい}ちよっかんせい



ユニバーサルデザインと バリアフリーの違いは？

ユニバーサルデザインとよく似た考え方、バリアフリーがあります。

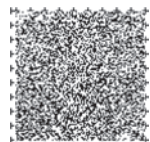
区分	ユニバーサルデザイン	バリアフリー
基本的な考え方	はじめから障壁（バリア）を作らない	後から障壁（バリア）を取り除く（フリー）
対象者	全ての人 （様々な人を想定する）	特定の人 （高齢者や障がい者など）
求められること	より良い方法がないか 考える姿勢が求められる	一定の基準を満たす 整備が求められる
事例	 はじめから 段差なし	 段差あり → スロープで解消

どちらもみんなが暮らしやすい社会をつくる考え方です

あだちく
足立区
では…



- 歩道の幅を広げるとともに、勾配は緩やかに、段差も解消。
- 視覚障がい者誘導用ブロックもはっきりと見やすいものを設置。

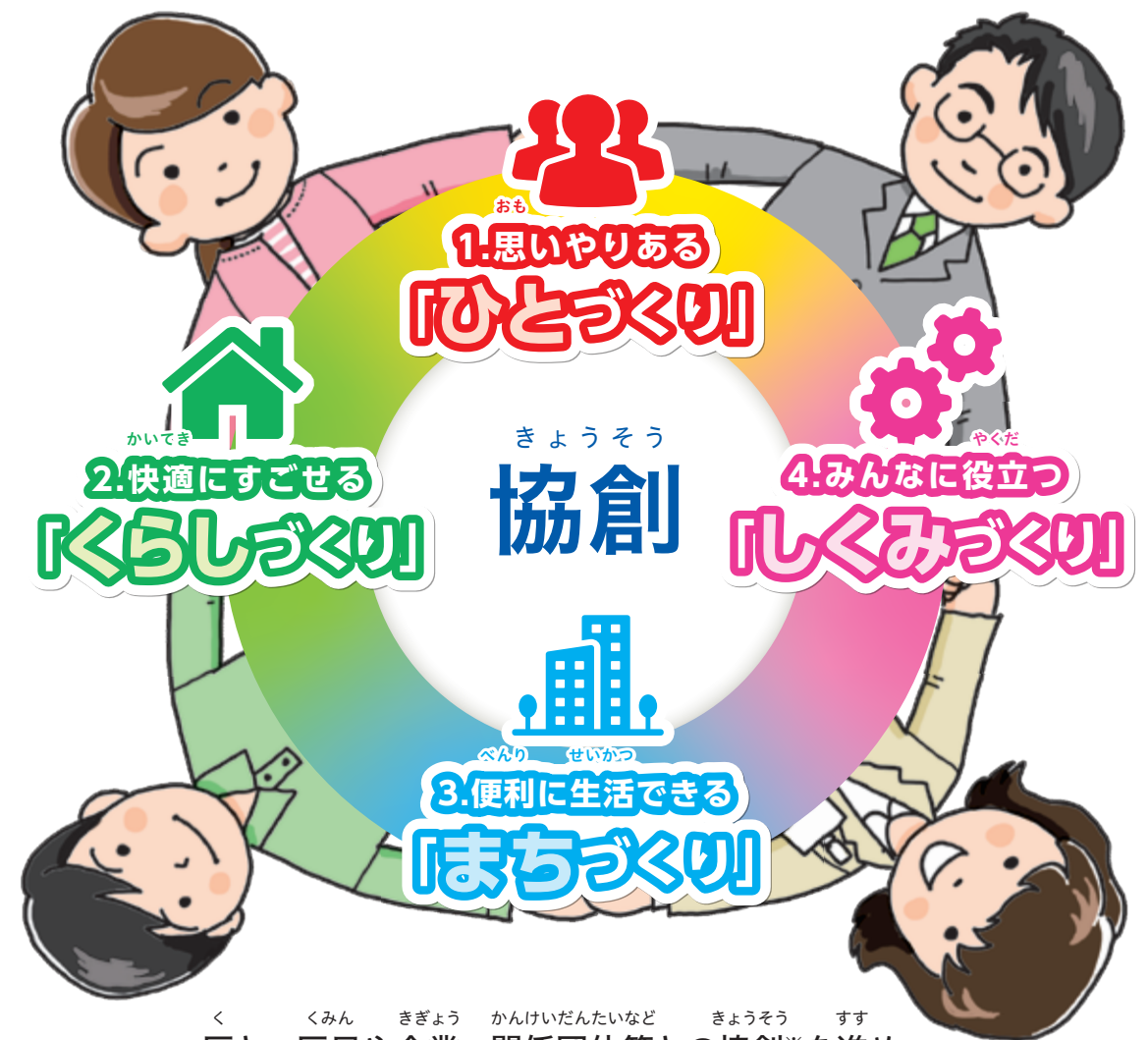


あだちのユニバーサルデザイン

足立区は、「ひと」「暮らし」「まち」「しくみ」の4つの視点から、将来像と基本方針を定めました。

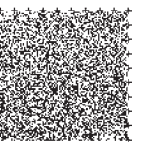
ユニバーサルデザインのまちづくりがめざす **将来像**

ひとを育み まちを創る
だれもが自分らしく暮らせるまち
足立



区と、区民や企業、関係団体等との協創※を進め、
ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりの実現をめざします。

※協創 互いの個性や価値観を認め合い、ゆるやかにつながり支えあうことで、より一層ちからを発揮するしくみのこと。
あだちく基本構想で定めた、基本理念です。





あんしん せいかつ
安心して生活できる
かんきょう せいび
環境の整備



あんしん く
安心して暮らせる
す かくほ
住まいの確保



つか
だれもが使いやすい
せいひん ふきゅう
製品の普及



ユニバーサルデザイン
の普及啓発



こどもたち いくせい
子どもの 育成



たよう ひどうし こうりゅう れんけい
多様な人同士の交流と連携



おも
1.思いやりある
「ひとづくり」

ユニバーサルデザインの
ふきゅうけいはつ たが りかい
普及啓発によって、お互いを理解し、
「こころづかい」ができる
「ひと」を育みます。

かいてき
2.快適にすごせる
「くらしづくり」

だれもが自立した
にちじょうせいかつ おく
日常生活を送れるように、
たよう ていきよう
多様なサービスを提供し、
あんしん じつげん
安心な「くらし」を実現します。

きほんほうしん と く
4つの基本方針 で取り組む
ユニバーサル デザインの
まち づくり



べんり せいかつ
3.便利に生活できる
「まちづくり」

だれもが利用しやすく
あんぜん かいてき ぐうかん しせつ せいび
安全で快適な空間や施設を整備し、
ふたん こうどう
負担なく行動できる
「まち」を築きます。



えんかつ いどう
だれもが円滑に移動できる
かんきょう せいび
環境の整備



こうきようしせつ
公共施設 などの
ユニバーサル デザインの整備



みんかんけんちくぶつ
民間建築物のユニバーサル
デザインの誘導



ユニバーサルデザイン
すいしんけいかく しんちよくかんり
推進計画の進捗管理



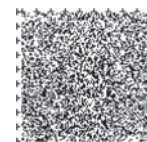
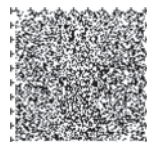
だれにでも伝わる情報を
作成・発信

やくだ
4.みんなに役立つ
「しくみづくり」

たよう じょうほうはっしん でんたつしゅだん とお
多様な情報発信の伝達手段を通して、
だれにでもわかりやすいサービスや
じょうほう ていきよう くみん よ そ
情報を提供し、区民に寄り添った
「しくみ」を充実させます。



さいがい み まも
災害から身を守る
じょうほう ていきよう
情報の提供



ひとり 一人ひとりが「心づかい」を こころ

ユニバーサルデザインのまちをつくっていくには、私たち一人ひとりの「心づかい」
ひつよう あいて たちば た おも こうどう こころ
が必要です。相手の立場に立って思いやりのある行動を心がけましょう。



ゆうせんせきがい せき
優先席以外でも席を
「ゆずりあいましょう」。



じぶん
自分にできる
「お手伝いをしましょう」。

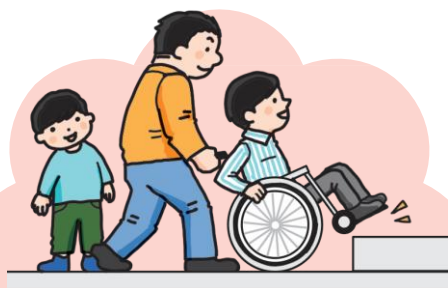
ほか
この他にも
おも たす あ こころ
思いやりや助け合いの心で
できることがあります。
じぶん
自分のことから
はじめましょう。



こま ひと き
困っている人に気づいたら
すすんで
「声をかけましょう」※。

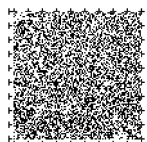


しかくしょう しゃゆうどうよう
視覚障がい者誘導用ブロックの
うえ じてんしゃ と
上に自転車を止めないよう
「心がけましょう」。



じぶん
自分できないときは
まわ ひと こえ
周りの人に「声をかけて」
か
代わってもらうことも
たいせつ
大切です。

※ じどう せいと こえ ばあい おとな いっしょ
児童・生徒が声をかける場合は、大人と一緒に
おおにんずう
いるときや大人数でいるときにしましょう。



あだちく としけんせつば としけんせつか
足立区都市建設部都市建設課

ユニバーサルデザイン担当課

〒120-8510 東京都足立区中央本町 1-17-1

電話: 03-3880-5768 E-mail: tosi@city.adachi.tokyo.jp

発行年月 令和2年3月 第1版発行

令和5年9月 第2版発行

知ると分かる。すると変わる。



SDGs MODEL ADACHI

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。